



2018年 年頭にあたって



上野ひろつぐ 県議予定候補

昨年の衆議院選挙では大変お世話になりました。市民と野党の共闘にとって大変な分断が持ち込まれた中、共闘を再構築しながら闘うという歴史的な選挙でありました。共闘が更に強固なものとなり、今後につながる大きな成果を上げることができました。

私は次期統一地方選挙で県議員に挑戦をいたします。今年12月の市議会議員選挙と合わせて連続勝利にむけ全力で取り組んでいく決意でございます。本年もよろしくお願い申し上げます。



堀口明子 日本共産党市議会議員

国は毎年のように社会保障費の削減を行ってきています。負担増のために医療にかかれない方をつくってはなりません。さらに待機児童が増えても公立保育園の補助金はカットされたままで、八千代市は公立保育園を増設しないと決めてしまっています。社会保障費の削減は命と暮らしを脅かします。社会保障費の拡充を求めて頑張ります。

今年も日本共産党八千代市議団をよろしくお願いいたします。



植田 進 日本共産党市議会議員

1月12日の自衛隊習志野演習場での「降下訓練始め」に、米軍80名もの参加が予定され、日米一体化の共同作戦が強化されています。

今年12月の市議選挙、日本共産党の躍進で、市民の暮らし・福祉最優先の市政への転換を実現させましょう。

昨年の総選挙で、市民と野党との共闘が前進し、新しい政治の流れが奔流となって現れています。八千代市でもこの流れを加速させましょう。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



伊原 忠 日本共産党市議会議員

日本国憲法第9条は世界に誇れる宝です。戦争のない平和な国でこそ、「個人の尊厳」が活かされます。

さらに昨年はヒバクシャたちが自らの体験を語り、核兵器禁止条約を採択させる原動力となりました。史上初めてのこの出来事は全人類の希望です。

市政では阿蘇・米本地域の住民の力で、小中一貫校の計画を見直しに追い込み、団地に小学校を残せるという画期的な成果を得ることができました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

八千代民報

日本共産党八千代市委員会の見解を紹介します。2018年1月号 日本共産党八千代市委員会発行
八千代市大和田新田469-374 ☎ 459-8411 FAX 459-8422